

「ふくすいき ～福水企～」通信

令和3年11月号



企業団キャラクター
ビューターくん

この「ふくすいき～福水企～」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

イベント等の詳しい情報等が得られるように、タイトルにはできる限り URL を埋め込んでいます。🔗 (埋め込みマーク)
また、印刷物は QR コードからアクセスできます。

発行：福岡地区水道企業団 総務課
福岡市南区清水四丁目 3-1
TEL 092-552-1731(代)

■ 企業団・構成団体の動き

●五ヶ山ダムでデイキャンプを実施〔10/9（土）五ヶ山ダム〕

(古賀市から情報提供いただきました。)

古賀市上下水道課では、水に関する理解を深めてもらうため、9 組 26 名のご家族といっしょに市の水源である五ヶ山ダムを訪ね、モンベル五ヶ山ベースキャンプ場にてデイキャンプを実施しました。

キャンプ場には、昨年に導入した給水車が同行。参加者には、防災訓練の一環として、車両から給水操作した水を使って昼食を作っていただきました。

緊急事態宣言明けということもあり、水と緑に囲まれた場所で、自粛生活の疲れをいやしていただけたのではないのでしょうか。



キャンプの様子



給水車からの給水の様子



参加者集合写真

●施設見学の受け入れを再開〔10/15（金）～ 海水淡水化センター〕🔗

当企業団では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため停止しておりました海水淡水化センターの施設見学を再開しました。

見学ができるのは、月～金曜日と毎月第 3 日曜日及び水道週間（6/1～6/7）期間内の土曜日と日曜日です。（ただし、祝日、年末年始期間を除きます。）

一度に見学できる人数は、当面約 30 名までとしています。（30 名を超える場合は、ご相談ください。）見学の所要時間は、約 1 時間 30 分です。

なお、見学の際は、マスク着用や手指消毒等をお願いします。

詳細は、9 ページ及び当企業団ホームページで。 <海水淡水化センター 古川>



こいしわらがわ
●小石原川ダムが本格運用開始されました〔10/16（土）小石原川ダム〕

小石原川ダムは、小石原川沿川の洪水被害の軽減のための洪水調節、水道用水の安定供給のための新規利水の確保及び適正な水利用や河川環境を保全するための流水の正常な機能の維持を目的とした多目的ダムです。

小石原川ダムでは、令和3年5月20日に洪水時最高水位（サーチャージ水位）に到達し、ダム堤体等の安全性を確認しながら水位を低下させ、令和3年8月5日に規定の最低水位に到達しました。その後、検査・諸手続きを経て令和3年10月16日にダムは正式に運用開始されました。

これにより、江川ダム、寺内ダムに、小石原川ダムを加えた3ダムを総合的に運用することとなり、限られた水資源の有効利用が可能となります。
＜計画調整課 松尾＞



小石原川ダム（独立行政法人水資源機構提供）

●ラブアース・クリーンアップ【開催しました】〔10/29（金）福岡市東区海の中道〕

「ラブアース・クリーンアップ」は平成4年5月に福岡市で開催された「ローマクラブ福岡会議イン九州」を契機に、会議のテーマであった“地球環境と地域行動”の実践活動として、市民・企業・行政が協力し、力を合わせて始めた環境美化活動です。

昨年同様今年も新型コロナウイルスの影響で全市一斉イベントは中止となりましたが、今回、個別のラブアース活動として「海水淡水化センター」の放流施設周辺の海岸清掃を行いました。

企業団からはなかむらたかひさ中村貴久企業長、ふじたひでたか藤田英隆副企業長を含む20名、参加を希望された民間事業者からは15名の計35名が参加しました。

博多湾から漂着し散乱していたペットボトルや発泡スチロール、空き缶等、合計144袋のほか、トラック用タイヤなどの粗大ゴミを回収し、きれいな海岸になりました。

美しい自然環境を守るための活動を、これからも続けていきたいと思います。

＜海水淡水化センター 古川＞



清掃活動の様子



集めたゴミ袋

■ 水源地域との交流事業

実施レポート

●流域連携基金事業「筑後川のめぐみフェスティバル」〔10/16（土）・17（日）福岡市役所ふれあい広場〕

福岡都市圏は、使用する水道水の約3分の1を筑後川に頼っています。このため、筑後川への感謝の気持ちを表し、福岡都市圏住民と筑後川流域住民との交流を深めるため、毎年「筑後川のめぐみフェスティバル」が福岡都市圏広域行政事業組合の主催（当企業団共催）で開催されています。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、今年は9月30日に緊急事態宣言が解除され、

その後、県の福岡コロナ警報も10月14日に解除されたため、無事に開催することができました。



オープニングのくす玉割り

今回は、入場時の検温やマスク着用、会場内一方通行、飲食禁止（飲食はテイクアウトのみ）などの感染防止対策を徹底させたうえで実施されました。

オープニングセレモニーでは、福岡都市圏広域事業組合副管理者の三浦正^{みうらただし} 篠栗町長のあいさつの後、当企業団企業長を含む登壇者全員によるくす玉割りが行われました。

会場では、筑後川流域の物産品の産地直送販売をはじめ、筑後川流域の郷土芸能の演奏、heels&クリスタル、バリカタキッズのライブなどのステージイベント、観光物産のPR、物産品抽選会などがありました。

来場者と筑後川流域のマスコットキャラクターの交流やYoutubeの生配信、テレビの生中継取材などもあり、会場は大いににぎわいました。

水の啓発コーナーでは、国土交通省九州地方整備局と水資源機構筑後川局によるダムや川の説明、福岡市水源林ボランティアの会による水源林に関する啓発が行われました。

当企業団では、一昨年までは利き水コーナー（海水淡水化水・水道水・ミネラルウォーターの3種類の水の飲み比べ）を行っていましたが、今年は新型コロナウイルス感染防止対策として会場内飲食禁止となったことから、啓発用ポケットティッシュ配布とアンケート＆抽選会を実施。水道水に関するアンケートに答えていただいた方に、ノベルティグッズが当たるタブレットを使ったスロットゲームに参加いただきました。

2日間で約1,100人の方が参加。アンケートは、集計・分析を行い、今後の事業運営の参考にさせていただきます。

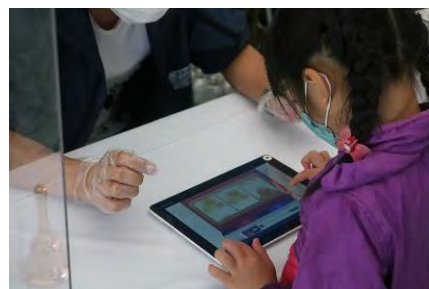
来場者の皆さまには、フェスティバルを通して「水」について考え、筑後川のめぐみを感じていただける良い機会になったのではないのでしょうか。

アンケート＆抽選会の運営にあたり、ご協力をいただいた、宗像市、志免町、筑紫野市、糸島市の職員の皆さまには、厚くお礼申し上げます。

＜総務課 田子森＞



アンケート＆抽選のブース



タブレットによるスロット抽選

■水源地域の主なイベント 【お出かけください】

11月、12月の予定

●秋のバラフェア〔10/16（土）～11/21（日）久留米市野中町〕

（公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました）

春だけでなく秋にも美しく咲き誇るバラの見頃に合わせて、秋のバラフェアを開催しています。400品種 2600株のバラが彩る園内をゆっくりと散策いただき、バラの苗販売やローズガーデンコンサートなどのバラにちなんだイベントで、バラを存分にお楽しみください。

イベントの詳細は公式ホームページをご確認ください。



日 時 令和3年10月16日（土）～11月21日（日）
10：00～17：00
（ライトアップ開催の金土日祝は20：00まで）
※ 毎週月曜は休館日ですが、バラ園は年中無休です。

開催場所 石橋文化センター（久留米市野中町 1015）

問い合わせ先 石橋文化センター
TEL 0942-33-2271 FAX 0942-39-7837



●#ヒタジェニックフォトコン〔11/6（土）～11/28（日）日田市〕

（日田市から情報提供いただきました。）

日田らしい写真“ヒタジェニック”をテーマに、期間中、日田市内で撮影された写真をInstagramで募集しています。

日田市観光課のInstagram（@hita_tourism）をフォローし、ハッシュタグ“#ヒタジェニック”をつけて投稿すると、優秀作品には豪華な日田の特産品をプレゼント。

是非ご応募ください。

期 間 令和3年11月6日（土）～11月28日（日）

問い合わせ先 日田まつり振興会
TEL 0973-22-8210



●おしろい祭り〔12/2（木）朝倉市大山祇神社〕

おおやまつみ

（朝倉市から情報提供いただきました）

古くからの言い伝えでは、大山祇神社は「山の神」と呼ばれ、一般的に山の神は「女の神様」を指し示しますが、その「女の神様」がお化粧をすることを「おしろいをぬる」と言われています。

このおしろいは、新米を粉にして水で溶いたもので“しとぎ”と呼ばれていますが、“しとぎ”は、「餅の原型」とも言われ、古くから神前のお供えものとしてハレの日に欠かせない存在です。

朝倉市杷木大山の大山祇神社で行われる 300 年以上続く全国的にも珍しい「おしろい祭り」は、この“しとぎ”を顔に塗るもので、その昔、農家の人々が氏子の繁栄と新穀の豊作を神に報告、感謝し、来年の五穀豊穡を祈願する行事で、全国でも類のない奇習です。

毎年 12 月 2 日に行われ、当日は午後 2 時頃から宮座が始まります。

宮司のお祓い、祝詞が奏上された後、氏子全員が宮座の膳につき、お神酒がまわり始めると、座元と言われる人達が“しとぎ”を持ち出して宮司の顔から塗り始め、参拝者全員におしろいが塗られていきます。このおしろいの付き具合で来年の「作柄」が占われます。

このおしろいは家に帰るまで落としてはならず、帰ってから顔を洗った水を家畜に飲ませると丈夫に育つそうです。

宮座の膳を持ち帰るための「藁つと」が用意されており、お酒で火照った顔におしろいが塗られた顔のままで、「藁つと」を肩に担いで家路につく姿は素朴な風景です。

日 時 令和 3 年 12 月 2 日（木） 14：00～

開 催 場 所 大山祇神社（朝倉市杷木大山） ※ 駐車場なし

問い合わせ先 道の駅「原鶴」インフォメーションセンター

TEL 0946-62-0730



■ ダムいっとう！

このコーナーでは、主に福岡地区水道企業団や構成団体の水源となっているダムを探訪して、担当者からお話をうかがい、その特色や魅力に迫ります。

今回は、桜の名所として知られる^{しもうけ}下釜ダムを訪ねました。ダムの周辺の蜂の巣湖公園などには約500本のソメイヨシノが植えられており、毎年4月の第1日曜日には蜂の巣湖桜祭りが開催されています。下釜ダムから約14km南西には、かつて東洋一の金産出量を誇った^{たいお}鯛生金山を復活させた鯛生金山地底博物館があります。



下釜ダム



ダムの目的	洪水調節、流量維持、発電
所在地	右岸 熊本県阿蘇郡小国町 左岸 大分県日田市
河川名	筑後川水系津江川
型式	アーチ式コンクリートダム
堤高／堤頂長	98m／248.2m
総貯水量	5,930,000 m ³
利水者	(株)九州電力
管理者	国土交通省九州地方整備局
着工年/完成年	1965年／1972年

担当職員ダム自慢♪ 国土交通省 九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所 下釜ダム管理支所 吉村さん

下釜ダム管理支所の吉村です。(独)水資源機構からの出向で、今年の4月に着任しました。生まれは北海道ですが、四国の大学で河川生態学を専攻し、水資源機構に入社しました。

水資源機構も国土交通省もダムの操作は同じなのですが、国土交通省では河川管理者としての立場を意識する業務が多いですね。

現在、日田市内の宿舎から通っていますが、ダム周辺には仕出しがないので、お昼は愛妻弁当です(笑)。

下釜ダムは昨年の7月豪雨の際、管理開始以降初めての異常洪水時防災操作を実施しました。周辺道路が崩落しダムが孤立することもありましたが、下流の松原ダム等と協力し、下流河川の水位低下に貢献することができました。

下釜ダムの特徴ですが、まず、なんといっても美しいアーチ形ですね。筑後川水系のダムの中でアー



吉村さん

チ式コンクリートダムはここだけです。固い地盤の両岸がダムを支えるので、重力式コンクリートダムに比べて使用するコンクリートの量が少なくすむんですよ。また、下流側の堤体壁面にはキャットウォーク（点検用の通路）があって、見学時にはすぐ下流にある松原ダムのダム湖（梅林湖）を眺めることができます。紅葉の時期はすごくきれいですよ。

もう一つ、忘れてはならないのがその歴史です。1953 年（昭和 28 年）の西日本大水害を受けて松原ダムと下釜ダムの建設することとなったのですが、水没地に住んでいた室原知幸^{むろはらともゆき}さんは、当時の建設省の横暴なやり口に憤慨し、1959 年（昭和 34 年）ダム反対派のリーダーとしてダム建設予定地に「蜂の巣城」と呼ばれる小屋を建てて激しく抵抗。乱闘事件にまで発展しました。



キャットウォークからの眺望



蜂の巣城（ダムパンフレットより転載）

ちょっと寄り道♪

下釜ダムの約 5 km 下流、松原ダムの隣には地元の野菜をふんだんに使ったレストランがあります。下釜ダムでうかがった、このレストランのおすすめメニューは「松下ダムカレー」。

重力式コンクリートダムの松原ダム（下側のライス）とアーチ式コンクリートダムの下釜ダムがライスで表現されています。

日田名物の唐揚げや盛りだくさんの地元産の野菜の付け合わせでヘルシーにお腹一杯になります。

レストランでは地元産の野菜も販売しています。



下釜ダムから約 14 km 南西にある「鯛生金山地底博物館」では、かつて東洋一の金産出量を誇った往時の様子を地下に再現。細部にこだわった展示は、金山で働いていた人たちの生活を髣髴させます。

また、敷地内には、砂の中から砂金の粒を探し出す人気のコーナー「ゴールドハンティング」もあり、手に入れた砂金をかわいいホルダーに入れて、思い出の品とすることができます。 <総務課 中川>

水 源 情 報

企業団ホームページの【水源情報】は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、
【水源情報】が載っています
ので、見てね！！



・企業団ホームページ【水源情報】アドレス

<http://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>

編 集 後 記

「セトウツミ」(著者:と此元和津也^{このもとかつや} 出版社:秋田書店刊)というコミックをご存知でしょうか。映画化やドラマ化もされていて、そこそこ認知度はあるはずなのですが、関西の男子高校生二人（瀬戸と内海）が学校帰りに川の近くの階段に座ってダラダラしゃべるといふ地味な展開のせいか、大ヒットとまではいかなかったようです。しかし、二人の絶妙な会話劇が面白く、最終巻での衝撃の展開と見事な伏線回収で一部（私も含まれるのですが）には根強い人気があります。

もし、企業団で自主制作のCMを作るとしたら、川の近くに男二人が座ってダラダラしゃべるといふシチュエーションは、面白いのではないのでしょうか。那珂川も近いですし。

A「なあ」

B「なに？」

A「福岡都市圏の水道水の1/3は筑後川の水で知ってた？」

B「えっ、そうなん!？」（ガバッと立ち上がる）

A「いや、驚きすぎやろ・・・」

A・Bナレーション 「けっこう飲んでる筑後川の水」

どうでしょうかね。

<総務 月天>



企業団近くの那珂川の風景

★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき〜福水企〜」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

たくさんの情報提供を
お待ちしております！！



～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください
福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

海の中道奈多海水淡水化センターを見学しませんか。

○ 海の中道奈多海水淡水化センター（日本最大規模の海水淡水化施設）

○所在地

〒811-0204 福岡市東区大字奈多 1302 番 122

○見学日

- ・月曜日から金曜日
- ・毎月第3日曜日
- ・水道週間（6/1～6/7）期間内の土曜日と日曜日（祝日、年末年始期間を除きます）

○TEL 092-608-6262 FAX 092-608-6256



海水淡水化センター施設内部

○ 企業団HPで各施設の予約状況を確認することができます。

見学を希望される場合は、7日前までに電話で予約のうえ、書面による申込み（FAX または郵送）をお願いします。

なお、一度に見学できる人数は、当面約30名までとしています。

（30名を超える場合は、ご相談ください。）

※ 施設見学の予約状況の確認、申込書（様式例）のダウンロードはこちら

<http://www.f-suiki.or.jp/facility/facility-guides/>

なお、牛頸浄水場の見学受け入れについては、引き続き停止しています。

福岡地区水道企業団では、企業団ホームページやSNS（Twitter、Facebookページ）を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事やSNSで発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思われた方は、ぜひ、SNSの機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団HP

<http://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 Twitter

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 Facebook ページ

福岡地区水道企業団



福岡地区水道企業団 YouTube ページ

YouTube JP

福岡地区水道企業団

